

外交防衛委員会

委員一覧 (21名)

| | | | |
|-----|-------------|------------|--------------|
| 委員長 | 片山 さつき (自民) | 小坂 憲次 (自民) | 藤田 幸久 (民主) |
| 理事 | 北村 経夫 (自民) | 末松 信介 (自民) | 石川 博崇 (公明) |
| 理事 | 佐藤 正久 (自民) | 林 芳正 (自民) | 小野 次郎 (維新) |
| 理事 | 三木 亨 (自民) | 松山 政司 (自民) | 井上 哲士 (共産) |
| 理事 | 大野 元裕 (民主) | 北澤 俊美 (民主) | アントニオ猪木 (元気) |
| 理事 | 荒木 清寛 (公明) | 小西 洋之 (民主) | 浜田 和幸 (次代) |
| | 宇都 隆史 (自民) | 福山 哲郎 (民主) | 糸数 慶子 (無) |
| | | | (27.2.12 現在) |

(1) 審議概観

第189回国会において本委員会に付託された案件は、条約12件及び内閣提出法律案4件の合計16件であり、そのいずれも承認又は可決した。

また、本委員会付託の請願23種類141件のうち、1種類13件を採択した。

〔条約及び法律案の審査〕

防衛装備庁の新設等 防衛省設置法等の一部を改正する法律案は、防衛省の所掌事務をより効果的かつ効率的に遂行し得る体制を整備するため、防衛装備庁の新設、技術研究本部及び装備施設本部の廃止、内部部局の所掌事務に関する規定の整備、自衛官定数の変更、航空自衛隊の航空総隊の改編等の措置を講ずるものである。委員会においては、官房長及び局長と幕僚長との関係を定めた防衛省設置法第12条改正の趣旨と文民統制との関係、防衛装備庁新設によるコスト削減の効果と国際的な防衛装備・技術協力の取組、防衛装備庁と防衛産業との関係性と監査・監督体制の強化策、自衛隊の部隊運用業務を統合幕僚監部に一元化することの妥当性、航空自衛隊那覇基地への第9航空団新編の理由等について質疑が行わ

れたほか、参考人からの意見聴取及び本法律案により防衛装備庁に統合される防衛省技術研究本部への視察が行われ、討論の後、多数をもって可決された。

特定防衛調達 特定防衛調達に係る国庫債務負担行為により支出すべき年限に関する特別措置法案は、現下の厳しい財政状況の下で防衛力の計画的な整備を行うため、防衛装備品等の調達であって、長期契約により調達経費の縮減等に特に資するものとして、防衛大臣が財務大臣と協議して定める特定防衛調達について、国庫債務負担行為により支出すべき年限を10か年度以内まで延長すること等の特別措置を定めるものである。委員会においては、長期契約の導入による調達コストの削減効果、長期契約の締結と技術革新や物価変動等への対応、本法を時限法とした理由、特定防衛調達の透明性確保のための公表の在り方、防衛調達に財政法の例外化措置を設けることの問題性等について質疑が行われたほか、長期契約の対象として予算計上されている固定翼哨戒機P-1を保有する海上自衛隊厚木航空基地等への視察が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、特定防

衛調達の対象となる装備品等及び当該装備品等の整備に係る役務を財務大臣と協議して定める際の指針を、可能な限り早期に定め、適切な整備・調達等の実施を図ること等の6項目から成る附帯決議を行った。

水銀等の国際的な規制の強化 水銀に関する水俣条約は、平成25年10月に熊本で開催された外交会議において採択されたものであり、水銀及び水銀化合物の人為的な排出及び放出から人の健康及び環境を保護することを目的として、水銀の規制等について定めるものである。委員会においては、本条約成立の意義と早期発効に向けた我が国の働きかけ、本条約による水銀規制の内容と規制強化のための今後の取組、途上国支援など水銀対策強化のための我が国の協力等について質疑が行われ、全会一致をもって承認された。

気候変動対策 緑の気候基金への拠出及びこれに伴う措置に関する法律案は、開発途上国による温室効果ガスの削減と気候変動への適応を支援する緑の気候基金に対する我が国からの拠出及びこれに伴う措置について定めるものである。委員会においては、我が国の拠出の意義と国際的評価、気候変動分野における他の基金との棲み分け、基金による具体的な支援案件と対象国、気候変動対策の新たな枠組み合意に向けた我が国の取組状況等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

自由貿易の推進及び国際機関への協力 経済上の連携に関する日本国とモンゴル国との間の協定は、両国間において、物品及びサービスの貿易の自由化、円滑化を進め、投資の機会を増大させ、自然人の移動、競争、知的財産等の幅広い分野での枠組みを構築すること等について定

めるものである。世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正する議定書は、世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正し、同協定の附属書に税関手続等の迅速化等について定める貿易円滑化協定を追加するものである。東南アジア諸国連合プラス三箇国マクロ経済調査事務局を設立する協定は、地域の経済の監視等を通じ、地域の経済及び金融の安定性の確保に貢献する国際機関として、ASEANプラス3マクロ経済調査事務局、いわゆるAMROの設立等について定めるものである。二千七年の国際コーヒー協定は、二千一年の協定に代わり、国際コーヒー機関の組織、コーヒーに関する情報の交換、研究及び調査を通じた国際協力等について定めるものである。委員会においては、モンゴルとの経済連携協定締結の戦略的意義、エネルギー・鉱物資源の安定供給の確保と投資環境の改善、モンゴル等におけるウラン探鉱支援の継続の問題性、貿易円滑化協定発効による通関手続の簡素化・迅速化等の効果、AMROの人員体制の強化、国際コーヒー機関への再加盟の意義、途上国であるコーヒー生産国・生産者に対する支援の推進等について質疑が行われ、モンゴルとの経済連携協定及びWTO協定改正議定書は、討論の後、いずれも多数をもって、ASEANプラス3マクロ経済調査事務局設立協定及び二千七年国際コーヒー協定は、いずれも全会一致をもって、それぞれ承認された。

知的財産権の保護の促進 特許法条約は、特許出願等に関する手続について締約国が求めることができる要件等について定めるものである。商標法に関するシンガポール条約は、商標等に係る登録の出願及び登録に関する手続について締約国が

求めることができる要件等について定めるものである。委員会においては、両条約成立の経緯と我が国が締結する意義、特許法条約における救済規定の趣旨、商標法シンガポール条約が適用される商標等の範囲、アジア諸国に対する両条約締結に向けた働きかけ等について質疑が行われ、いずれも全会一致をもって、それぞれ承認された。

投資・租税・社会保障における二国間協力の推進 投資の促進及び保護に関する日本国とカザフスタン共和国との間の協定、投資の促進及び保護に関する日本国とウクライナとの間の協定、投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とウルグアイ東方共和国との間の協定のうち、カザフスタン及びウクライナとの投資協定は、主に、投資の許可後の投資家及び投資財産の保護について、ウルグアイとの投資協定は、投資の許可後の投資家及び投資財産の保護に加え、投資の許可段階の内国民待遇等について、それぞれ定めるものである。併せて、これらの協定は、現地調達要求など特定措置の履行要求の原則禁止、待遇公正平衡待遇義務、収用等の措置がとられた場合の補償措置、支払等の自由な移転、投資紛争の解決のための手続等について定めている。所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とカタル国政府との間の協定は、二重課税の回避を目的とした課税権の調整を行うとともに、両国における配当、利子及び使用料に対する源泉地国課税の限度税率等について定めるものである。社会保障に関する日本国とルクセンブルク大公国との間の協定は、年金制度等の適用の調整及び加入期間の通算による年金の受給権の確立等について定めるものである。

委員会においては、今後の投資協定締結交渉の見通し、カザフスタンの経済発展と投資協定締結の意義、ウクライナ情勢の安定化に向けた我が国の取組等について質疑が行われ、投資協定三件及びカタルとの租税協定は、討論の後、いずれも多数をもって、ルクセンブルクとの社会保障協定は、全会一致をもって、それぞれ承認された。

外交実施体制の整備 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案は、在グルジア日本国大使館の名称及び位置の国名をそれぞれ在ジョージア日本国大使館及びジョージアに変更すること、在レオン（メキシコ）及び在ハンブルク（ドイツ）の各日本国総領事館を新設すること、在外公館に勤務する外務公務員の在勤基本手当の基準額を改定すること等について規定するものである。委員会においては、在外公館の整備と外務省人員体制の拡充、在外公館の警備体制の強化と在留邦人の安全確保、在外職員の勤務環境の改善、公邸料理人の待遇の在り方等について質疑が行われた。質疑終局の後、自由民主党及び公明党から、施行期日を平成27年4月1日から公布の日に変更する等の修正案が提出され、全会一致をもって修正議決された。

〔国政調査等〕

3月2日及び3日、我が国の防衛等に関する実情調査のため、長崎県及び佐賀県への委員派遣を行い、陸上自衛隊、海上自衛隊、在日米海軍、海上保安庁、佐世保市、佐賀市等からの説明聴取、訓練、関連施設及び装備品の視察、意見交換等を行った。

3月19日、外交の基本方針について岸

田外務大臣から、国の防衛の基本方針について中谷防衛大臣から、それぞれ所信を聴取した。

3月24日、外交の基本方針及び国の防衛の基本方針について質疑を行った後、派遣委員から報告を聴取した。

3月26日、外交の基本方針及び国の防衛の基本方針について質疑を行った。

4月2日、新たな安全保障法制の整備のための基本方針の閣議決定、日朝関係、集団的自衛権の行使容認と抑止力との関係、自衛官募集と安全保障教育、イランの核問題、エジプト経済開発会議、普天間飛行場移設問題等について質疑を行った。

4月7日、予算委員会から委嘱された平成27年度外務省予算・防衛省予算等の審査を行い、質疑を行った。

4月23日、アジア・アフリカ会議（バンドン会議）における安倍内閣総理大臣の演説、特定秘密保護法の運用、新たな安全保障法制の整備のための基本方針の閣議決定、集団的自衛権の行使容認と抑止力との関係、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処、日・キューバ関係、外国人技能実習制度における外務省の役割、普天間飛行場移設問題等について質疑を行った。

5月7日、日米安全保障協議委員会（「2＋2」閣僚会合）等について岸田外務大臣及び中谷防衛大臣から報告を聴取した。

5月12日、日米安全保障協議委員会（「2＋2」閣僚会合）等について質疑を行った。

5月19日、北朝鮮情勢、平和安全法制、日露関係、米ハワイ州におけるオスプレイの事故、オスプレイの横田飛行場配備、海上自衛隊とフィリピン海軍との共同訓練、普天間飛行場移設問題等について質疑を行った。

6月4日、シリアにおける邦人殺害テロ事件等について岸田外務大臣から報告を聴取した後、質疑を行った。

6月11日、集団的自衛権と憲法との関係、平和安全法制、海外に派遣される自衛隊員のメンタルヘルスケア、環境分野における対中協力、米ハワイ州におけるオスプレイの事故、普天間飛行場移設問題等について質疑を行った。

8月27日、平和安全法制、在沖縄米軍基地問題、戦後七十年談話、普天間飛行場移設問題、在沖縄米軍ヘリ墜落事故、朝鮮半島情勢、日露関係、我が国を取り巻く安全保障環境等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成27年2月12日(木) (第1回)

- 外交、防衛等に関する調査を行うことを決定した。
- 委員派遣を行うことを決定した。

○平成27年3月19日(木) (第2回)

- 外交の基本方針に関する件について岸田外務大臣から所信を聴いた。
- 国の防衛の基本方針に関する件について中谷防衛大臣から所信を聴いた。

○平成27年3月24日(火) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 外交の基本方針に関する件及び国の防衛の基本方針に関する件について岸田外務大臣、中谷防衛大臣、城内外務副大臣、宇都外務大臣政務官、越智内閣府大臣政務官、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

佐藤正久君（自民）、三木亨君（自民）、小野次郎君（維新）、大野元裕君（民主）、小西洋之君（民主）

○派遣委員から報告を聴いた。

○平成27年3月26日（木）（第4回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 外交の基本方針に関する件及び国の防衛の基本方針に関する件について中谷防衛大臣、岸田外務大臣、宇都外務大臣政務官、石川防衛大臣政務官、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

福山哲郎君（民主）、荒木清寛君（公明）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

○平成27年4月2日（木）（第5回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 新たな安全保障法制の整備のための基本方針の閣議決定に関する件、日朝関係に関する件、集団的自衛権の行使容認と抑止力との関係に関する件、自衛官募集と安全保障教育に関する件、イランの核問題に関する件、エジプト経済開発会議に関する件、普天間飛行場移設問題に関する件等について中谷防衛大臣、岸田外務大臣、小泉農林水産副大臣、菡浦外務大臣政務官、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

小西洋之君（民主）、白眞勲君（民主）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

- 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第11号）（衆議院送付）について岸田外務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年4月7日（火）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送

付）

（外務省所管、防衛省所管及び独立行政法人国際協力機構有償資金協力部門）について岸田外務大臣及び中谷防衛大臣から説明を聴いた後、岸田外務大臣、中谷防衛大臣、葉梨内閣府副大臣、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

豊田俊郎君（自民）、福山哲郎君（民主）、小西洋之君（民主）、荒木清寛君（公明）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

本委員会における委嘱審査は終了した。

- 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第11号）（衆議院送付）について岸田外務大臣、中谷防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、修正議決した。

〔質疑者〕

藤田幸久君（民主）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

（閣法第11号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、共産、元気、次代、無

反対会派 なし

○平成27年4月9日（木）（第7回）

- 特定防衛調達に係る国庫債務負担行為により支出すべき年限に関する特別措置法案（閣法第20号）（衆議院送付）について中谷防衛大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年4月14日（火）（第8回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 特定防衛調達に係る国庫債務負担行為により支出すべき年限に関する特別措置法案（閣法第20号）（衆議院送付）について中谷防衛大臣、城内外務副大臣、石川防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

北村経夫君（自民）、荒木清寛君（公明）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次

代)

○平成27年4月21日(火) (第9回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 特定防衛調達に係る国庫債務負担行為により支出すべき年限に関する特別措置法案(閣法第20号)(衆議院送付)について中谷防衛大臣、岸田外務大臣、竹谷財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

大野元裕君(民主)、小野次郎君(維新)、井上哲士君(共産)、糸数慶子君(無)

(閣法第20号)

賛成会派 自民、民主、公明、維新、元氣、次代

反対会派 共産、無

なお、附帯決議を行った。

○平成27年4月23日(木) (第10回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- アジア・アフリカ会議(バンドン会議)における安倍内閣総理大臣の演説に関する件、特定秘密保護法の運用に関する件、新たな安全保障法制の整備のための基本方針の閣議決定に関する件、集団的自衛権の行使容認と抑止力との関係に関する件、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処に関する件、日・キューバ関係に関する件、外国人技能実習制度における外務省の役割に関する件、普天間飛行場移設問題に関する件等について岸田外務大臣、中谷防衛大臣、世耕内閣官房副長官、高木経済産業副大臣、葉梨内閣府副大臣、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

福山哲郎君(民主)、小西洋之君(民主)、小野次郎君(維新)、井上哲士君(共産)、アントニオ猪木君(元氣)、浜田和幸君(次代)、糸数慶子君(無)

- 緑の気候基金への拠出及びこれに伴う措置に関する法律案(閣法第12号)(衆議院送付)について岸田外務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年5月7日(木) (第11回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 緑の気候基金への拠出及びこれに伴う措置に関する法律案(閣法第12号)(衆議院送付)について岸田外務大臣、城内外務副大臣、北村環境副大臣、宇都外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

三木亨君(自民)、福山哲郎君(民主)、荒木清寛君(公明)、小野次郎君(維新)、井上哲士君(共産)、アントニオ猪木君(元氣)、浜田和幸君(次代)、糸数慶子君(無)

(閣法第12号)

賛成会派 自民、民主、公明、維新、共産、元氣、次代、無

反対会派 なし

- 日米安全保障協議委員会(「2+2」閣僚会合)等に関する件について岸田外務大臣及び中谷防衛大臣から報告を聴いた。

○平成27年5月12日(火) (第12回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 日米安全保障協議委員会(「2+2」閣僚会合)等に関する件について岸田外務大臣、中谷防衛大臣、西村(康)内閣府副大臣、左藤防衛副大臣、中根外務大臣政務官、石川防衛大臣政務官、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

佐藤正久君(自民)、藤田幸久君(民主)、小西洋之君(民主)、荒木清寛君(公明)、アントニオ猪木君(元氣)、井上哲士君(共産)、小野次郎君(維新)、和田政宗君(次代)、糸数慶子君(無)

- 経済上の連携に関する日本国とモンゴル国との間の協定の締結について承認を求めるの件(閣条第1号)(衆議院送付)

世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件(閣条第2号)(衆議院送付)

東南アジア諸国連合プラス三箇国マクロ経済調査事務局を設立する協定の締結について承認を求めるの件(閣条第3号)(衆議院送付)

二千七年の国際コーヒー協定の締結について承認を求めるの件（閣条第7号）（衆議院送付）

以上4件について岸田外務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年5月14日（木）（第13回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 経済上の連携に関する日本国とモンゴル国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第1号）（衆議院送付）

世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（閣条第2号）（衆議院送付）

東南アジア諸国連合プラス三箇国マクロ経済調査事務局を設立する協定の締結について承認を求めるの件（閣条第3号）（衆議院送付）
二千七年の国際コーヒー協定の締結について承認を求めるの件（閣条第7号）（衆議院送付）

以上4件について岸田外務大臣、中谷防衛大臣、西村（康）内閣府副大臣、宇都外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、経済上の連携に関する日本国とモンゴル国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第1号）（衆議院送付）及び世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（閣条第2号）（衆議院送付）について討論の後、いずれも承認すべきものと議決した。

〔質疑者〕

豊田俊郎君（自民）、荒木清寛君（公明）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、糸数慶子君（無）、大野元裕君（民主）（閣条第1号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、元気、無

反対会派 共産

欠席会派 次代

（閣条第2号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、元気

反対会派 共産、無

欠席会派 次代

（閣条第3号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、共産、元気、無

反対会派 なし

欠席会派 次代

（閣条第7号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、共産、元気、無

反対会派 なし

欠席会派 次代

○平成27年5月19日（火）（第14回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 北朝鮮情勢に関する件、平和安全法制に関する件、日露関係に関する件、米ハワイ州におけるオスプレイの事故に関する件、オスプレイの横田飛行場配備に関する件、海上自衛隊とフィリピン海軍との共同訓練に関する件、普天間飛行場移設問題に関する件等について岸田外務大臣、中谷防衛大臣、山本文部科学大臣政務官、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

北村経夫君（自民）、福山哲郎君（民主）、小西洋之君（民主）、荒木清寛君（公明）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

- 水銀に関する水俣条約の締結について承認を求めるの件（閣条第4号）（衆議院送付）について岸田外務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年5月21日（木）（第15回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 水銀に関する水俣条約の締結について承認を求めるの件（閣条第4号）（衆議院送付）について岸田外務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、承認すべきものと議決した。

〔質疑者〕

馬場成志君（自民）、小西洋之君（民主）、荒木清寛君（公明）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

（閣条第4号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、共産、
元氣、次代、無

反対会派 なし

- 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）について中谷防衛大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年5月26日（火）（第16回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）について中谷防衛大臣、岸田外務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

三木亨君（自民）、大野元裕君（民主）、荒木清寛君（公明）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○平成27年5月28日（木）（第17回）

- 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

東京財団上席研究員 渡部恒雄君
拓殖大学国際学部・海外事情研究所教授
佐藤丙午君
同志社大学政策学部教授 武蔵勝宏君
獨協大学名誉教授 西川純子君

〔質疑者〕

北村経夫君（自民）、福山哲郎君（民主）、荒木清寛君（公明）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元氣）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

○平成27年6月2日（火）（第18回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）について中谷防衛大臣、岸田外務大臣、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

佐藤正久君（自民）、福山哲郎君（民主）、

藤田幸久君（民主）、荒木清寛君（公明）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元氣）、浜田和幸君（次代）

○平成27年6月4日（木）（第19回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- シリアにおける邦人殺害テロ事件等に関する件について岸田外務大臣から報告を聴いた後、同大臣、中谷防衛大臣、世耕内閣官房副長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

大野元裕君（民主）、アントニオ猪木君（元氣）、井上哲士君（共産）、小野次郎君（維新）、浜田和幸君（次代）

○平成27年6月9日（火）（第20回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）について中谷防衛大臣、岸田外務大臣、石川防衛大臣政務官、宇都外務大臣政務官、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

佐藤正久君（自民）、小西洋之君（民主）、荒木清寛君（公明）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

（閣法第33号）

賛成会派 自民、公明、維新、元氣、次代
反対会派 民主、共産、無

○平成27年6月11日（木）（第21回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 集団的自衛権と憲法との関係に関する件、平和安全法制に関する件、海外に派遣される自衛隊員のメンタルヘルスケアに関する件、環境分野における対中協力に関する件、米ハワイ州におけるオスプレイの事故に関する件、普天間飛行場移設問題に関する件等について中谷防衛大臣、岸田外務大臣、城内外務副大臣、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

小西洋之君（民主）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

○特許法条約の締結について承認を求めるの件（閣条第5号）（衆議院送付）

商標法に関するシンガポール条約の締結について承認を求めるの件（閣条第6号）（衆議院送付）

以上両件について岸田外務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年6月16日（火）（第22回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○特許法条約の締結について承認を求めるの件（閣条第5号）（衆議院送付）

商標法に関するシンガポール条約の締結について承認を求めるの件（閣条第6号）（衆議院送付）

以上両件について岸田外務大臣、中谷防衛大臣、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行った後、いずれも承認すべきものと議決した。

〔質疑者〕

三木亨君（自民）、藤田幸久君（民主）、荒木清寛君（公明）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

（閣条第5号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、共産、元気、次代、無

反対会派 なし

（閣条第6号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、共産、元気、次代、無

反対会派 なし

○平成27年8月27日（木）（第23回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○平和安全法制に関する件、在沖縄米軍基地問題に関する件、戦後70年談話に関する件、普天間飛行場移設に関する件、在沖縄米軍ヘリ墜落事故に関する件、朝鮮半島情勢に関する件、日露関係に関する件、我が国を取り巻く安全保障環境に関する件等について中谷防衛

大臣、岸田外務大臣、城内外務副大臣、石川防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

佐藤正久君（自民）、藤田幸久君（民主）、白眞勲君（民主）、荒木清寛君（公明）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）

○平成27年9月8日（火）（第24回）

○投資の促進及び保護に関する日本国とカザフスタン共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第8号）（衆議院送付）
投資の促進及び保護に関する日本国とウクライナとの間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第9号）（衆議院送付）

投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とウルグアイ東方共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第10号）（衆議院送付）

所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とカタル国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第11号）（衆議院送付）

社会保障に関する日本国とルクセンブルク大公国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第12号）（衆議院送付）

以上5件について岸田外務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年9月10日（木）（第25回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○投資の促進及び保護に関する日本国とカザフスタン共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第8号）（衆議院送付）
投資の促進及び保護に関する日本国とウクライナとの間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第9号）（衆議院送付）

投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とウルグアイ東方共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第10号）（衆議院送付）

所得に対する租税に関する二重課税の回避及

び脱税の防止のための日本国政府とカタール国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第11号）（衆議院送付）

社会保障に関する日本国とルクセンブルク大公国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第12号）（衆議院送付）

以上5件について岸田外務大臣、中谷防衛大臣、宇都外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、投資の促進及び保護に関する日本国とカザフスタン共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第8号）（衆議院送付）、投資の促進及び保護に関する日本国とウクライナとの間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第9号）（衆議院送付）、投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とウルグアイ東方共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第10号）（衆議院送付）及び所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とカタール国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第11号）（衆議院送付）について討論の後、いずれも承認すべきものと議決した。

〔質疑者〕

藤田幸久君（民主）、大野元裕君（民主）、井上哲士君（共産）、アントニオ猪木君（元気）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）（閣条第8号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、元気、次代、無

反対会派 共産

（閣条第9号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、元気、次代、無

反対会派 共産

（閣条第10号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、元気、次代、無

反対会派 共産

（閣条第11号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、元気、次代、無

反対会派 共産

（閣条第12号）

賛成会派 自民、民主、公明、維新、共産、元気、次代、無

反対会派 なし

○平成27年9月25日（金）（第26回）

○請願第1106号外12件は、採択すべきものにして、内閣に送付するを要するものと審査決定し、第50号外127件を審査した。

○外交、防衛等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成27年3月2日（月）、3日（火）

○我が国の防衛等に関する実情調査

〔派遣地〕

長崎県、佐賀県

〔派遣委員〕

片山さつき君（自民）、北村経夫君（自民）、佐藤正久君（自民）、三木亨君（自民）、大野元裕君（民主）、荒木清寛君（公明）、小野次郎君（維新）、井上哲士君（共産）、浜田和幸君（次代）、糸数慶子君（無）